

認定農業者だより Next Step

日田版 令和7年3月
大分県西部振興局 生産流通部
T e l : 0973-23-2217
F a x : 0973-23-3473
E-mail : a11610@pref.oita.lg.jp
記事へのご意見等をお寄せください

春の農作業安全確認について

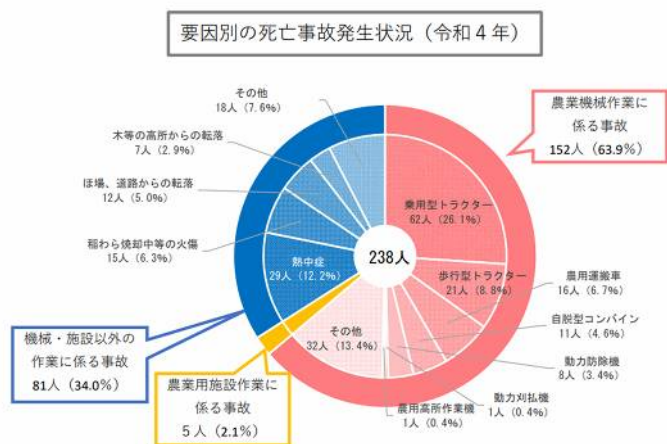
春作業が行われる3～5月は、乗用トラクターなどを使用する頻度が高くなるため、今一度事故防止対策と被害軽減対策を実施しましょう。

農業機械作業に係る死亡者数は依然として高い水準にあり、事故防止のため日頃からの安全確認強化が重要となります。

〈令和4年に発生した農作業死亡事故の調査結果〉

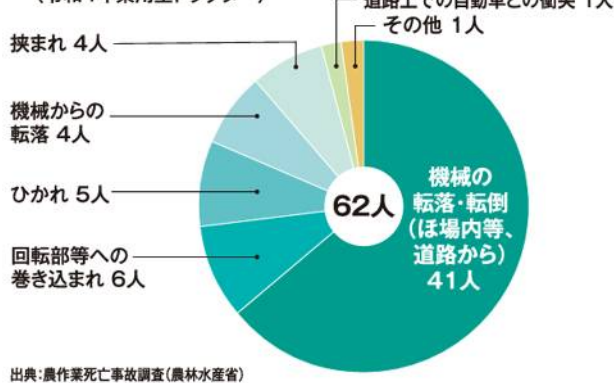
要因別の死亡事故発生状況

農業機械事故による死亡の要因



原因別の農業機械作業に係る死亡者数

（令和4年乗用型トラクター）



出典：農作業死亡事故調査（農水省）より

出典：農作業死亡事故調査（農林水産省）

○事故防止のため農業機械の転落・転倒対策の徹底しましょう

【被害軽減対策】

- ・シートベルトとヘルメットを着用
- ・安全フレーム付きトラクターの利用
→両方対策することで初めて有効に働きます。

シートベルトなし



体がどこに飛んでいくかわからない
下敷きになる恐れも

シートベルトあり



安全域にとどまることができる

出典：農作業安全対策（農水省）より

シートベルトの着用により
転落・転倒時の死亡率は1/8に！

【事故防止対策】

- ・ほ場周辺の危険箇所の確認・危険回避行動の実践（危険箇所での減速、迂回ルートの設定など）
- ・危険箇所の改善（道路端や曲がり角の草刈り、路肩の補強など）



キケンな路肩に注意!!



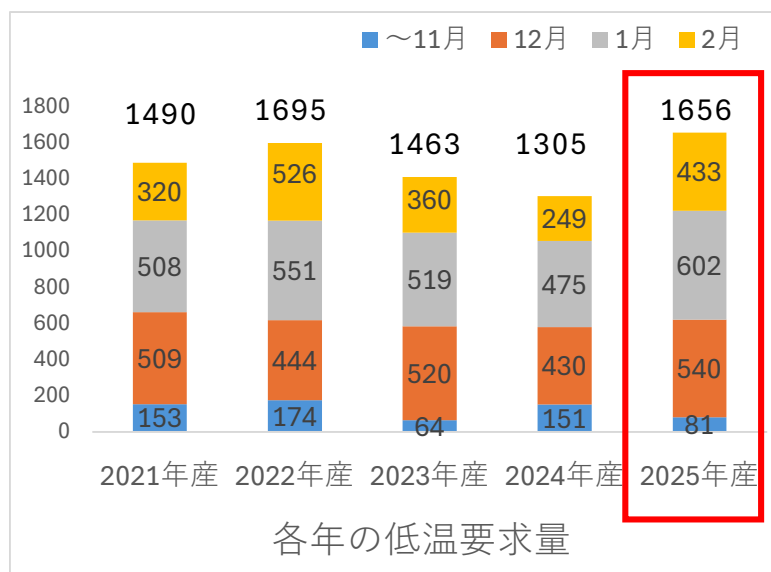
草で、路肩が崩れているのに気が付かなかったよ。

出典：農作業安全のススメ（ヤンマー）より

（営農推進班 吉武）

(果樹) 春期作業を適期に実施しましょう

1) 低温要求量について



○落葉果樹の低温要求量

- ・ぶどう: 500~600 時間
- ・すもも: 500~1500 時間
- ・梨
豊水, あきづき: 800~1000 時間
幸水: 1000~1200 時間
新高: 1200~1400 時間



- 落葉果樹の芽は冬の間生育停止状態（自発休眠）に入っており、一定量の低温に遭遇することで開花します（低温要求量）。（低温要求量は、常緑果樹では明確な基準はなく、落葉果樹では7.2℃以下の積算時間で表されます。）。
- 今年の11月は比較的暖かく、落葉が例年より2週間程度遅れた傾向がありましたが、12月以降は冷え込み、2025年産については**一定量の低温要求量**が確保される見込みです。
- なお、近年3月以降の気温が平年並~高く推移しており、2025年産についても**果樹の「発芽・開花」が早まることが想定されます**ので、下記に留意して作業を行ってください。

2) 防除

防除適期を逃すと「**薬害が懸念される**」「**防除効果が劣る**」ことから、生育状況をよく観察して、丁寧に散布漏れのないように防除を実施してください。

特に「マシン油乳剤」「石灰硫黄合剤」は**薬害に注意**するとともに、**近隣への飛散（ドリフト）にも注意**してください。

表2 主要果樹における発芽前後の防除

樹種	防除時期	対象病害虫
ゆず	発芽前	ミカンハダニ
	発芽期(※)	そうか病
ぶどう	発芽前	黒とう病・晩腐病・ハダニ類
梨	発芽前	カイガラムシ類・黒星病
	りん片脱落期	黒星病

※春芽が5~10mm程度伸びた頃が適期

適期防除！

3) かん水・晩霜対策

順調な発芽には「**温度**」に加え、十分な「**水**」が必要です。特に幼木では、根域が「浅く、狭い」ことから、根が乾燥しないように**定期的に灌水**を実施してください。施用した肥料は水に溶けて根から吸収されるため、施肥後に降雨が少ない場合はかん水を行ってください。

初乳給与について

初乳には「免疫グロブリンによる抗体付与」と「栄養補給」の効果があります。

本来は親牛の新鮮初乳を給与することが望ましいですが、
それぞれの初乳の特徴を理解した上で、状況に応じて使い分け元気な子牛を育てましょう！

その1 親の初乳 免疫○ 栄養○ 機能性成分○

親の初乳は、免疫物質・栄養・機能性成分を豊富に含んでいます。また、子牛は飼養される牧場の病原体に対応する免疫を獲得できます。

初産牛と経産牛の初乳の違い

- ✓ 経産牛は初産牛に比べて、量・成分・免疫物質(IgG等)の多い良質な初乳を生産します
- ✓ 免疫物質は、牧場内で長く飼養されている親牛ほど多くなります

区分	頭数 頭	乳量 L	乳脂肪 %	乳蛋白 %	乳糖 %	IgG mg/ml
初産牛	20	4.5	8.5	12.4	2.3	56
経産牛	35	9.9	6.2	13.7	2.4	73

(十勝酪農フォーラム 2020 より)

漏入や低品質な初乳

- ✓ 漏入すると初乳中の IgG 濃度は大きく低下します
- ✓ また、Brix 値が 22%を下回る初乳は低品質とされています
→その場合はその2かその3へ

その2 凍結初乳 免疫○ 栄養○ 機能性成分○

凍結初乳は、分娩の時間帯や親の初乳の品質にかかわらず、良質な初乳給与利用できます

保存方法

- ✓ 凍結保存する初乳は、**パステライザーで殺菌処理**をしてから、なるべく早く清潔な容器に移します
- ✓ 容器には、日付、牛番号、Brix 値を記録すると便利です
- ✓ 冷凍での保存期間は1年間です

解凍方法

50℃の温度でゆっくりと解凍します(※熱湯では免疫物質の機能が失われてしまいます)

その3 初乳製剤 免疫○ 栄養△ 機能性成分△

初乳製剤は IgG やエネルギー、ビタミン、ミネラル等が配合され、初乳との代替、併用が可能です。ただし製剤によって栄養や機能性成分の含量は異なります。パッケージや説明書に記載の用法・用量を守って使用してください。

初乳を飲ませる前に、パステライザーで殺菌を！

- ・ IgG 等の成分を変性させずに初乳を殺菌できます
- ・ 殺菌することで、初乳を介して母牛から子牛へ伝染する病原体の感染リスクを低減できます

初乳給与3ポイント

- ✓ 1 回目の初乳給与は生後6時間以内がベスト
- ✓ まんぷく給与(一度に3L以上)
- ✓ 良質な初乳(Brix 値 22 以上)を給与

(畜産班 野原)

アライグマ等の被害防止対策について

近年、日田・玖珠地区では外来生物であるアライグマの生息数が激増しており、農作物被害が急増しています。アライグマは雑食で、農産物等を好んで食べます。

この状況に対し、農林業者の方（家庭菜園は除きます）がアライグマ等被害防止のために、電気柵等を設置する場合（既設の防護柵をアライグマ等対策用に改良することも可能）、下記のとおりにより、設置費用（資材費のみ）を補助する制度を創設していますので、在住市町の鳥獣被害対策担当課または大分県西部振興局森林管理班にご相談ください。補助率は事業費の3分の2で、事業費が下記標準経費を超える場合は、標準経費が上限となります。



① 新設

複合柵（資材費のみ）

延長要件：100m以上

標準経費：550 円/m

①アライグマ等の防護柵



② 既設の防護柵（ワイヤーメッシュ等）の機能強化

（1）電気柵（資材費のみ）

延長要件：100m以上

標準経費：313 円/m

（2）ネット柵（資材費のみ）

延長要件：100m以上

標準経費：127 円/m

②通常の防護柵を改良



WM（ワイヤーメッシュ：溶接金網）

アライグマ等対策（イメージ）



電気柵（柵上部）＋ネット（柵の内側）



（森林管理班 丸山）